

我等松若

題字は

初代監督 故・松島正吉先生

H.9.1 Vol.9-1 第16号

第47回全国高校駅伝大会御礼と御報告

■陸上部 後援会

会長 鈴木章介



皆様益々で健勝のこととお喜び申し上げます。
先般行われました全国駅伝大会の出場に際し
多大なご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

京都におきましては入賞を目標に、選手・監督そ
して多数の応援団が一致団結し全力を尽くしまし
た。

しかし、力一歩及ばず結果は2時間9分16秒で16
位でありました。

来期は今年のメンバーが4人残ります。5年連続
出場はもちろんのこと、全国レベルに負けない
チームを作り、入賞を目標に練習を開始いたしまし
た。

今後も皆様のご期待に添う好成绩が上げられ
るよう、監督・選手を支援していきたいと思ひます。

皆様のご好意に今一度お礼を申し上げ、御報
告と御礼の言葉と致します。

■陸上部父母の会

会長 河合恵司



寒さ厳しき折、皆様方におかれましては、益々御
健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より物心
両面にわたりご支援ご後援を賜わり、心より厚くお
礼申し上げます。

お陰を持ちまして全国高校駅伝大会において
も4年連続14回目の出場をはたすことができました。
結果は47校中、16位という結果ではございます
が、全国で活躍されておられる浜商OBの方々また
浜商ファンの方々が、純白にエンジのライン、の
校章をテレビ画面で探しご声援いただけたと思う
と感無量でございます。

たとえ時代が変わろうとも脈々と受けつがれる
浜商スピリット、浜商魂があるかぎり必ずやいつの
日かテープを切る日がくると確信し、選手達は来
期に向け始動いたしました。

今一度皆様に感謝申し上げるとともに変わらぬ
ご支援ご後援をお願い致しまして、挨拶にかえさ
せていただきます。

本当にありがとうございました。

第47回全国高校駅伝大特集



■陸上部監督

杉井将彦 (第34回卒)

希望にあふれる新年を迎え、皆様方には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

平素は浜松商業陸上競技部に多大なるご支援ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、昨年12月22日に京都で行われました第47回全国高等学校駅伝競走大会へ4年連続の出場をすることができました。12時30分、西京極陸上競技場を1区 藤本和也(3年)は第1列からのスタートとなりました。藤本にとっては3回目の全国高校駅伝ではありますが、昨年まで古田が走った区間を初めて走るということもあり、大きなプレッシャーが掛かっていたと考えます。前半こそ集団の中で何とか頑張っていました、後半に入り徐々に遅れ、タイムが30分59秒の区間27位という結果でした。しかし本人の10,000mのベストタイムが30分30秒であることから、登りが続く1区のタイムとしてはまずまず力を出したのではと思います。今年のチームは自分でレースを作ることができる選手が揃ったことから2区以降に昨年までと違いがあります。2区 川手秀祐(2年)は昨年は5区を経験しており、今回は自信をもって前半から積極的に走ることができ、特に最後丸太町通でよく頑張れ、区間14位タイム8分41秒と健闘しました。第3区は金原良征(2年)5,000mのタイムでは3年の藤本、河合に引けをとらない力を持つまでに成長しました。ただ3区は1区に次ぐエース区間、目に見えぬプレッシャーとレース中の駆け引きが選手を襲います。タスキを受けて、7km地点までは前を追う走りができたのですが、やはり最後の1kmで力及ばず25分24秒、区間30位と本人としても納得できない結果

に終わってしまいました。来年度はエースとなる選手だけに、この失敗を期に大きな飛躍を期待されます。4区は塚崎隼人(2年)秋になって長い距離にも自信をつけてきた選手であり、本人の口から本番に強いという言葉が出る程、試合で力を出す選手であります。実際に24分50秒区間17位、総合順位を24位から19位まで引き上げる快走を披露してくれました。5区は杉浦光浩(2年)800mの選手であり、力強い走りが特徴。やはり前半から積極的に前を追いついて9分08秒 区間26位、初めての全国大会としては力を出せたと思います。そして6区 3年生河合恵太にタスキは渡りました。河合はキャプテンであり本来であれば長い距離を走って当然の選手なのですが、今回はあえて6区5km区間への起用となりました。さすがキャプテンであり、自信溢れる走りです。区間6分15秒00秒で順位を17位まで引き上げました。7区は落合節夫(3年)3年目にして初めての全国大会、3年生としてアンカーの重責を十分に果たしトラックに入ってからラスト勝負にも勝ち、15分14秒 区間17位、総合順位16位、総合タイム2時間09分16秒でゴールしました。

昨年の順位を4つ落とす結果ではありましたが、チーム全員の力で1つずつ順位を上げてきたレース展開に全国大会での来年度以降の走りに期待できると考えます。今回のチームが2年生生中心であったことから来年度は今回の結果を生かし、あくまでも全国大会優勝を目指して頑張っていきたいと考えていますので、今後も御支援、御鞭撻の程を宜しくお願い申し上げます。

個人成績

区間 順位	総合 順位	タイム
1区(10)	*(*)藤本 和也 (3年)	27 30分59秒
2区(3)	*(*)川手 秀祐 (2年)	14 25 8分41秒
3区(8.1075*)	*(*)金原 良征 (2年)	30 24 25分24秒
4区(8.0875*)	*(*)塚崎 隼人 (2年)	17 19 24分50秒
5区(3)	*(*)杉浦 光浩 (2年)	26 19 9分8秒
6区(5)	*(*)河合 恵太 (3年)	6 17 15分0秒
7区(5)	*(*)落合 節夫 (3年)	17 16 15分14秒

男子第47回全国高校駅伝競走大会成績=7区間42.195分

(タイムの前の丸囲み数字は通過順位。カッコ内は区間順位とタイム)

順位	校名	1区(10*)	2区(3*)	3区(8.1075*)	4区(8.0875*)	5区(3*)	6区(5*)	7区(5*)
		選手名 位 時間	選手名 位 時間	選手名 位 時間	選手名 位 時間	選手名 位 時間	選手名 位 時間	選手名 位 時間
①	報徳学園 (兵庫)	高橋 ④29.55	森本 ②38.24 (⑧ 29)	永井 ②1.02.40 (② 24.16)	新井 ①1.28.24 (① 23.44)	清家 ①1.35.18 (⑧ 8.54)	城戸口 ①1.50.10 (② 14.52)	安藤 ①2.05.08 (⑥ 14.58)
②	大牟田 (福岡)	角田 ③29.47	森永 ③38.27 (⑧ 40)	土谷 ①1.02.42 (① 24.15)	藤本 ①1.28.28 (④ 25.46)	野村 ①1.37.15 (② 8.47)	池田 ④1.52.07 (② 14.52)	伊牟田 ②2.06.50 (④ 14.43)
③	熊本工 (熊本)	坂本 ③30.53	吉住 ②39.32 (⑧ 39)	椎葉 ①1.04.07 (④ 24.35)	須藤 ①1.28.20 (④ 24.13)	中原 ①1.37.19 (③ 8.59)	神田 ③1.52.06 (① 14.47)	水上 ③2.06.53 (⑤ 14.47)
④	田村 (福島)	小川 ③30.10	中村 ③38.51 (⑧ 41)	岡本 ①1.04.12 (② 25.21)	大槻 ①1.28.19 (② 24.07)	吉田 ①1.37.19 (⑧ 9.00)	廣野 ⑦1.52.22 (⑧ 15.03)	堀越 ②2.07.03 (② 14.41)
⑤	埼玉栄 (埼玉)	高岸 ③31.05	高橋 ③39.31 (⑧ 26)	小川 ③1.04.13 (② 24.42)	永野 ①1.28.35 (⑦ 24.22)	大谷 ①1.37.22 (② 8.47)	山内 ⑧1.52.23 (⑦ 15.01)	星野 ⑤2.07.03 (② 14.40)
⑥	白石 (佐賀)	狩峰 ③30.35	納富 ③39.15 (⑧ 40)	宮崎 ①1.04.01 (② 24.46)	山口 ①1.28.39 (② 24.38)	田中 ①1.37.29 (⑥ 8.50)	野崎 ④1.52.23 (④ 14.54)	光岡 ②2.07.05 (③ 14.42)
⑦	仙台育英 (宮城)	ギタヒ ①28.33	田中 ①37.22 (⑧ 49)	武田 ①1.02.23 (③ 25.01)	菅原 ②1.27.32 (③ 25.09)	阿部 ②1.36.25 (⑦ 8.53)	大槻 ②1.51.55 (③ 15.30)	山川 ⑦2.07.23 (③ 15.28)
⑧	市立船橋 (千葉)	柴田 ③30.38	高橋 ③39.14 (⑧ 36)	岡田 ①1.04.08 (② 24.54)	山本 ①1.28.39 (② 24.31)	伊藤 ①1.37.22 (① 8.47)	廣野 ⑤1.52.18 (⑤ 14.56)	土屋 ②2.07.26 (⑤ 15.08)
⑨	市立羅 (広島)	尾崎 ③30.30	松本 ⑦39.09 (⑧ 39)	島居 ③1.04.20 (③ 25.11)	田中 ①1.28.36 (② 24.16)	谷口 ①1.37.25 (④ 8.49)	黒田 ①1.52.30 (④ 15.05)	和田 ②2.07.30 (⑤ 15.00)
⑩	上岐商 (岐阜)	掛安 ②29.46	松野 ④38.30 (⑧ 44)	吉川 ①1.03.38 (② 25.08)	虎沢 ③1.28.16 (② 24.36)	熊谷 ①1.37.15 (③ 8.59)	古田 ①1.52.21 (⑨ 15.06)	羽柴 ②2.07.31 (⑤ 15.10)

浜商、目標に届かず

必死の追い上げ 「次につながる」



浜松商の5区杉浦光浩からのたすきを受ける6区の河合恵太=京都市の鳥丸紫明第5中継所



折り返しを終え3区の金原良征選手(左)から4区の塚崎隼人選手にたすきを渡す=京都市内で

〇：順位は16位だった
が、追いつけた末の結果と
あって、浜松商を率いる杉
井監督は「次につながる」
と、苦戦の中にも光明を見
いだしていた。
花の1区を担当する藤本
は、もちろん今年のエース
格。「順位よりタイム差。
日本人のトップから30秒以
内なら合格点」。杉井監督
はこう目算していた。藤本
もひとつけたを目標に、スタ
ートを切った。前半は自重
した。後半にかけていたの
だが、ペースに乗り遅れ、伸
び悩んで28位で中継点へ。日
本人トップの損斐(岐阜・
土岐商)との差は1分13秒
まで開いた。

出だして大きくつまづい
た。だが、浜松商は焦ること
なく、じりじりと巻き返
した。2区の川手が区間14
位の走り、25位まで前進す
ると、3区の金原も一つ順
位を上げた。次いで4区の
塚崎が健闘。五人抜き、力
走で19位に浮上した。杉浦
が無難にたすきと、6区の
主将河合が区間6位の好走
を見せて17位へ。アンカー
落合は大会直前に風邪でダ
ウンし、三日間練習を休ん
だ。だが、見事に復帰。競
技場に入って一人を抜き、
16位でゴールインした。

タイムは2時間9分16

秒。(2時間)8分台は

いけると思ったが」と、記
録には不満な顔を見せた杉
井監督だが、「前半良くて落
ちるより、順位を一度も落
とすことなく前に進んだん
だから」とレース展開は評
価した。
昨年までの浜松商は、古
田山梨学院大に引つ張ら
れて戦ってきた。今年はそ
の穴をいかに埋めるかがポ
イントだった。杉井監督は
総合力で勝負することを求
め、河合主将以下七人の走
者は順位こそ昨年に比べ4
つ下げたが、内容ではそん
色ない答えを出した。
「駅伝は七人全員で戦う
もの」という河合主将は、来
年こそ、みんなの力で入賞
を果たしてほしい。きつと
やってくれますよ」と、伝統
のたすきを後輩に託した。

都大路をかけぬけて



1区 藤本和也(3年)

3年間走れてよかったけど、1回も満足できる走りが出来なかった。この悔しさを大学で箱根駅伝に出場して晴らしたい。



6区 河合恵太(3年)

皆様のおかげで都大路を3回も走らせて頂き感謝しています。目標の入賞はできませんでしたが、自分の走りには満足しています。高校はこれで卒業ですが、浜商で学んだことを生かし、これからもがんばりたいです。



2区 川手秀祐(2年)

調子も上がってきていたので、自信をもっていきました。目標タイムは達成できなかったけれど、2人抜くことができたのはよかった。次は、全員で力を合わせ、入賞したい。



7区 落合節夫(3年)

タイム・順位ともに満足のいく結果ではなかったけど、最後の駅伝で走ることができうれしかったです。これからも上を目指してがんばります。



3区 金原良征(2年)

始めの1kmがうまく入れたのでいけると思いました。しかし、ラスト1kmで足が上がりなくなってしまう、納得のいく走りができませんでした。次こそは入賞できるように頑張ります。



補欠 鈴井憲司(3年)

都大路を選手として走ることができず、とても悔しかった。今後は、この悔しさを忘れず、新しい目標に向かってがんばっていきます。



4区 塚崎隼人(2年)

4区を走らせてもらいましたが、走り込みが足りないせいか、8kmがとても長く感じました。次こそは距離に不安をなくして、都大路で勝負します。



補欠 勝亦利彦(1年)

全国駅伝ではあまり体調が良くなくて、補欠に回されて悔しい思いをしたので、次は選手としてまず県で勝ち、京都で走りたいです。



5区 杉浦光浩(2年)

あこがれの都大路を、楽しみながら走ることができました。次は上位入賞目指してがんばります。

●京都駅伝紀行パートIV●

今年の冬は、吉例となった我らの“駅伝紀行”パートIVの構想を描きながらのスタートだった。当然のことながら、今年も宿舎の手配は県大会の前に完了し、メンバーも昨年より増員、応援態勢は万全なものとなった。

そして22日朝、予定通り8名全員が新幹線にて浜松を後にした。10:30京都着、まずは西京極へ、そしてそれぞれの拠点にて声援を送る。

“駅伝は7人で戦うもの”という言葉がピッタリする様な走りであった今回の駅伝。6分台で8位入賞かと期待していたが!!

結果は2時間9分16秒で16位。しかし内容は前回に勝るとも劣らず高く評価できよう。順位を一度も下げることなく、追いつけた末の結果であった事は来期につながる走りであった。今年も全国へ浜商の名を轟かせ駅伝ファンを楽しませてくれた選手及び関係者に感謝したい。そして一層の奮起を期し、パートVが実現できる事を願いたい。

(16回卒 森 幸男)



後列左より宮島氏、鈴木氏、大鷹氏、
前列左より川瀬氏、松田氏、岡村先生、森氏

参照記録

●最多出場

1. 磐田農高 15回
2. 浜 松 商 14回
3. 富士宮北 8回

●連続出場

1. 富士宮北 (5年連続)
2. 浜 松 商 (4年連続・2回)
3. 磐田農高 (4年連続)



スーパー1年生

古 田

低迷長距離界に新星

’97年新春、箱根路にスーパールーキーが鮮烈デビューした。3日行われた箱根駅伝の復路8区では山梨学院大の新星・古田哲弘(1年・浜松商)が従来の区間記録を1分43秒も縮める驚異的な新記録を樹立。往路5位と沈んだチームを2位に引き上げる原動力となった。まだ19歳のニューヒーローの誕生は、来年以降の箱根、さらに2000年のシドニー五輪へ向け、日本の明るい希望の星となることは間違いない。

皆様 ご支援、ご声援ありがとうございました

(50音順)

内山隆司会計事務所

浜松市元城町113-15

遠州信用金庫

理事長 守田吾朗(旧42回卒)

スズキ(株)

浜松市高塚町300

須山建設(株)

浜松市布橋2丁目6-1

荘田税理士事務所

浜松市西ヶ崎町1726-1

(株)太洋サービス

浜松市篠原町9254-2

中部ガスグループ

- 中部ガス(株)
- ガステックサービス(株)
- (株)中部
- 中部住宅販売(株)
- 中部ガス不動産(株)
- 新協オートサービス(株)

(株)土屋建設

浜松市入野町103

山平建設(株)

浜松市馬込町416

(株)ユタカ技研

浜松市豊町508-1

収 支 報 告

助成金 5,045,500
(743口)

全国大会助成金	2,800,000
応援費	853,353
壮行会費	85,665
印刷郵送費	300,000
雑費	150,000
記念品代	300,000
繰越し金	556,482

計 5,045,500

計 5,045,500